

町の健全化判断比率等をお知らせします!

財政情報の公開と地方公共団体の財政の早期健全化を目的として『地方公共団体の財政の健全化に関する法律』に基づき、町民の皆さんに町の健全化判断比率等を公表します。

○健全化判断比率等の算定結果

平成22年度決算の健全化判断比率等の算定結果は次のとおりで、いずれも早期健全化基準、財政再生基準および経営健全化基準を下回っています。

□健全化判断比率

財政指標	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
町の算定値	—	—	9.7%	77.9%
早期健全化基準	14.00%	19.00%	25.0%	350.0%
財政再生基準	20.00%	35.00%	35.0%	—

※実質赤字比率および連結実質赤字比率は、赤字額がない場合「—」で表示されます。

□資金不足比率

会計名	水道事業会計	下水道事業特別会計	農業集落排水事業特別会計
町の算定値	—	—	—
経営健全化基準	20.00%	20.00%	20.00%

※資金不足額がない場合「—」で表示されます。

○健全化判断比率とは?

- 実質赤字比率**
一般会計に赤字額がある場合、その赤字額の程度を指標化するもの。
- 連結実質赤字比率**
町の会計全体を合算(連結)し、赤字額がある場合、その赤字額の程度を指標化するもの。
- 実質公債費比率**
地方債の償還金等の大きさを指標化し、財政負担の程度を示すもの。
- 将来負担比率**
一般会計が将来支払う可能性のある負担額を指標化し、将来の財政負担の程度を示すもの。
- 資金不足比率**
公営企業会計等に資金不足額がある場合、その額を事業規模と比較して指標化するもの。

◆詳しい内容を町公式ホームページに掲載しています。
URL:<http://www.town.yorii.saitama.jp/>

特別会計の主な事業

国民健康保険

歳入(9.5%増)	歳出(9.0%増)
被保険者数(年間平均)	11,240人
保険給付費	26億3,795万1千円
後期高齢者支援金等	4億6,397万4千円
1人当たり医療費*	28万9,643円

※ 1人当たり医療費は一部負担金を含んだ金額になります。

老人保健

歳入(97.7%減)	歳出(97.7%減)
制度廃止に伴う精算 (平成23年3月31日特別会計閉鎖)	

後期高齢者医療

歳入(2.0%減)	歳出(1.2%減)
受給者数(年間平均)	4,175人
1人当たり医療費	77万7,838円

下水道事業

歳入(21.2%減)	歳出(21.2%減)
寄居第2処理分区実施設計 管路施設の整備延長 3,306.9m	

農業集落排水事業

歳入(17.7%増)	歳出(15.1%増)
宅内配管工事の普及促進事業 管路施設の整備延長 2,598.4m 折原地区集落排水処理施設整備事業	

水道事業

収益的収支	収入(1.2%増)	歳出(2.5%減)
資本的収支	収入(76.8%減)	支出(47.1%減)
給水戸数	14,087戸	
給水人口	36,434人	
供給単価	175円52銭	
給水原価	163円44銭	

土木費(5.2%増)

すべての人に利用しやすい公共交通環境の整備を目指して、寄居駅へのエレベーター設置や歩道整備などの寄居駅バリアフリー化事業に約1億5千万円を支出しました。また、他会計への繰出金では、下水道事業特別会計に約2億7千万円を繰り出しています。

消防費(3.2%減)

平成21年度に引き続き防災行政無線デジタル化更新工事を実施し、約1億2千万円を支出したほか、防火水槽設置工事など消防水利整備事業に約2千万円が使われました。また、深谷市へ消防事務委託金として約4億8千万円を支出しました。

農林水産業費(8.0%増)

特産品開発事業や有害鳥獣駆除事業などの農業振興費に約2千万円、農業施設整備事業などに約2千万円を支出しています。また特別会計への繰出金として、農業集落排水事業特別会計に約6千万円を繰り出しています。

性質別歳出

性質別歳出を表したものがグラフ3となります。

扶助費(39.1%増)

障害者・高齢者・児童などのために使われる福祉的経費で、子ども手当の創設などのため約4億9千万円の大増となり増えました。

人件費(4.5%減)

職員給与、町議会議員や各種委員会委員への報酬等の経費で、約8千万円減少しました。

物件費(1.1%減)

消耗品費や電話料、郵便料、委託料などの経費で、約2千万円減少しました。

繰出金(29.4%増)

特別会計等へ繰り出される経費で約3億4千万円増加しました。

補助費等(29.6%減)

国の定額給付金給付事業の完了などにより約5億7千万円減少しました。

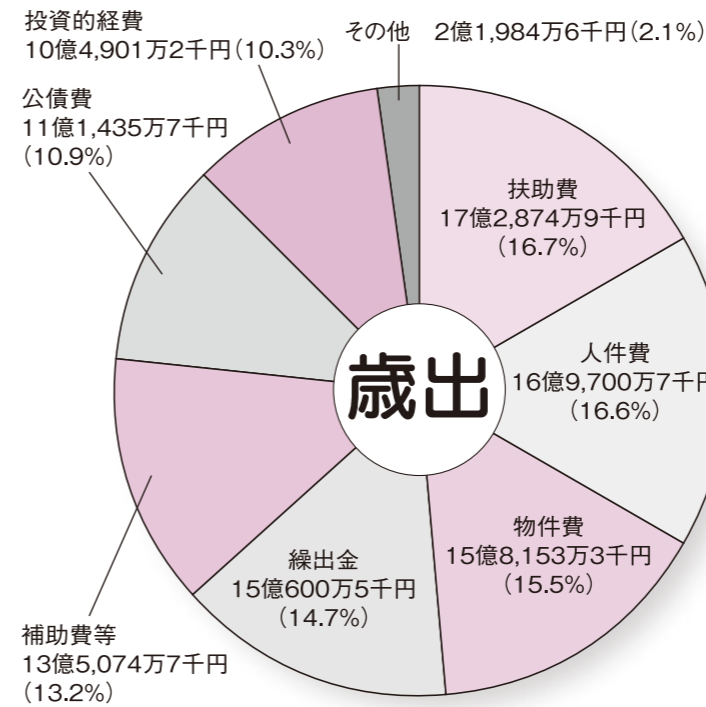
公債費(2.2%増)

公共施設の整備事業等で借り入れた町債の返済金で、約2千万円増加しました。

投資的経費(10.7%減)

道路整備や公共施設建設などの経費で、道路新設改良事業費の減少などにより約1億3千万円減少しました。

グラフ3 性質別歳出の内訳



歳出合計 102億4,725万6千円

その他 2億1,984万6千円の内訳

区分	金額
積立金	1億4,484万円
維持補修費	6,200万6千円
貸付金	1,300万円

特別会計

町の特別会計は6つで、それぞれ町議会第4回定例会で決算が認定されました。特別会計は、特定の収入等により特定の事業を行う場合などに、一般会計から分離し、別に収支経理を行うものです。

特別会計別決算額

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	38億7,407万3千円	39億6,814万4千円
老人保健	141万2千円	141万2千円
後期高齢者医療	2億8,149万6千円	2億7,888万8千円
下水道事業	6億4,079万2千円	6億3,081万6千円
農業集落排水事業	3億3,552万2千円	3億2,538万円
水道事業	収益的	8億7,338万8千円
	資本的	7億5,537万3千円
	8,363万6千円	4億415万7千円

以上が平成22年度決算の概要です。今後も計画的な行政運営を推進するため、効果的・効果的な事業を積極的に実施するとともに、一層質の高い行政サービスの提供に努めていきます。